

— 住学協同への実験 —

筑豊ゼミ研究会報 1月号

NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター・筑豊ゼミ研究会報第 50 号 2018 年 1 月 12 日

1 月例会は 1 月 17 日(水)午後 7 時～9 時

○市民遺産研究会 近畿大学産業理工学部 4号館1階ピロティ

- ・研修旅行の企画
- ・今年度の活動について

○古代のロマンに酔う研究会

1月 日()15時から 穂波公民館

○飯塚(中心市街地)このままで委員会

1月25日(木)19時15分 市民交流プラザ(あいタウン2F)

1. つなぐカフェについて
2. その他フリートーク

○住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会

1月17日(水) 19時00分

場所:近畿大学産業理工学部 4号館4階4402教室

- ・「飯塚つなごうPROJECT」の今後の展開について

○つかこうへいと筑豊研究会

1月は休会(偶数月の第3日曜日)

2月の定例会 2月18日 13時30分～ 場所:善照寺(嘉麻市上西郷590番地)

4月はつかこうへい生誕70周年。田川市立美術館からお誘いを受けた「つかこうへいの展示会」。ピクニックや元大分つかこうへい劇団などのご協力が頂けるようになりました。そこで、2月の定例会は中間報告と、更なる資料掘り起こしについて語り合いたいと思います。

○情報発信/データデザイン研究会(3号館3階3304-B:情報工房):

○学生ビジネス研究

筑豊ゼミ・研究会報告

市民遺産研究会

会長 白神 精一

12月20日は今年最後の例会。毎年この時期は月日の速さを実感するです。

「遠賀川の探索」を研究主題に掲げた私達の例会は、昨年の遠賀川の源流訪問に続き、6月には第2弾として、上流の芳雄橋から下流の飯塚大橋までの河川敷を約3キロ散策し、嘉麻川と穂波川の合流地点を確認することができました。11月には念願の旧忠隈炭坑のボタ山にも登頂しました。

今年は「筑豊ゼミ 30周年」の節目の年でもありました。市民遺産研究会にも二人の新会員の加入がありましたが、健康面などで全員揃っての満足な活動とはならなかったことなどを反省しながらの例会でした。

30期も残り僅か、年明けの2月頃には、若松地域への「遠賀川探索第三弾」も計画中であり、「待ってろよ」<遠賀川>、「あわてるな」<世界遺産>と会員一同は意気軒高です。

メンバーは決して若くありませんが、来援も、狭義には会員の高齢化と健康問題にうまく付き合いつつ、「遠賀川」を主題として、「世界遺産」を副題として取り組むこととし、広義には「筑豊ゼミ研究会」の一員として、飯塚・田川・直方の筑豊地域の連携に一役買えればと思っています。



2018 宮若市若宮の「日本一の門松」



2018 新春の英彦山 天狗杉と高住神社 大天狗の霊水・豊前坊竜神

古代のロマンに酔う研究会

～遠賀川上流古代祭～ヒミコを捜そう～

会長 藤江 文雄

飯塚（中心市街地）このままで委員会

～飯塚のまちについて何でも語ろう～

委員長 縄田 真照

2017年12月22日(金) 19時15分 市民交流プラザ

出席者4名

1. 「飯塚つなごうPROJECT」の今後

・実現性のある提案を一つでも形にしていきたい。河川敷からアーケード街への提案は、新年度になりそう。先日の住学協同センターのセミナー後の懇親会で、「勝手に提案研究会」への勧誘を行った。

2. その他フリートーク

・知人から軍艦島のペーパークラフトをもらった。かなり精巧に出来ている。飯塚の名所の嘉穂劇場や伝右衛門邸などのペーパークラフトを販売したらどうか。飯塚のまちシリーズや山笠など。
・数ヶ月前に向町にある麻生酒造が取り壊されて、駐車場になっている。古い建物を残すことが出来ないなら、クラフトで再現するのはどうか。

住み続けたいまち・住んでみたいまち～

勝手に提案研究会

会長 六谷 拓也

12月には、「飯塚つなごうPROJECT」にご協力いただいた皆さまや、参加していただいたメンバーとの懇親会を兼ねた例会を行いました。

次の展開につながるような話題もできていますので今後が楽しみです。

飯塚のまちだけではなく、人と人をつないでいけるような活動を目指したいです。



つかこうへいと筑豊研究会

会長 池田 静子

日時:12月17日(偶数月の第3日曜日) 13時30分～15時30分

場所:善照寺(嘉麻市上西郷590番地) 電話(0948-57-0646)

テーマ:来年4月つかこうへいの生誕70周年の取り組みについて

- ① 現在、4月に田川市立美術館にて「つかこうへい展」を予定
展示物(ポスター、パンフレット、チラシ、山田高校の学生新聞など)、
ピクニック、大分市つかこうへい劇団などの資料提供をお願い
- ② 田川市、嘉麻市、飯塚市、桂川町など筑豊の各図書館には「つかこうへいコーナー」の設置のお願い。今年の8回忌(10月)命日の前後の期間に、各図書館で展示コーナーを設置していただいた。4月もつかこうへい氏のコーナーを予定。
- ③ 映画の上映や演劇の公演など検討中(資金難が問題あり)。
- ④ つか氏の学友や幼友達などを巡り、嘉麻市、飯塚市、桂川など、筑豊での足跡をたどり、ドキュメントを作成中。
- ⑤ その他

情報発信/データデザイン研究会

会長 桑野 知良

学生ビジネス研究会

会長 安藤 旭信



下関 赤間神宮 新春を寿ぐ神楽(2018年1月2日)

情報交差点

筑豊ゼミ：<http://www.chikuzemi.com/>

e-mail：chair@chikuzemi.com(運営委員長)

：sec@chikuzemi.com(事務局長)

筑豊地域づくりセンター：<http://www.chikuhou-jugaku.org/>

筑豊ゼミホームページ(<http://www.chikuzemi.com/>)のイベントカレンダーもご覧ください

アーティストの反骨精神「沸点の現象」

1月7日(日)～2月4日(日) 【開催場所】田川市美術館

観覧料：一般 600 円(500)円／高大生 300 円(200)円／小中生 100 円(50)円

※()内は前売り、および 20 名以上の団体料金／田川市在住の方は、身分証明書を提示していただくと()内の料金で入館が可能 ※土曜日は高校生以下無料

アーティストの反骨魂を受けてみよ！！

田川市美術館では昨年度、「開館 25 周年記念 アーティストの反骨精神『沸点』」を開催しました。同展では筑豊・田川の原点を見直す展覧会として、日本の近代化の基幹産業を支えてきた炭坑労働者の姿に注目しました。理不尽な処遇を受けてきた彼らが抱いたであろう、反骨の魂は今では消え去ってしまったのだろうか。この問いを出発点として、日本の美術界を牽引してきた作家から現在活躍中の作家まで、「反骨精神」をテーマとした作品を幅広く紹介しました。

「沸点の現象」では、「沸点」から発信されたエネルギーがどのような現象を起こしたのか、現在精力的に活動している九州にゆかりのある作家に焦点を当て展覧します。本展では作品のジャンルを不問とすることで、油彩画、版画、アニメーション、インスタレーションなど個性豊かな作品が一堂に集結します。既存の枠にとらわれない総勢 50 名のアーティストが表現する多様な「反骨魂」をどうぞご覧ください。

http://tagawa-art.jp/exhibition/29year/img/event_20180107-01.jpg

飯塚商店街 1月のイベント情報

●東町新春えびす祭り 日 時：1月 7日(日)12時

開催場所：東町三叉路広場 御座券：1,000 円

●本町十日恵比須祭り 日 時：1月10日(水)12時

開催場所：本町健幸プラザ多目的室(ダイマル跡) 御座券：1,000 円

家内安全、商売繁盛、無病息災、五穀豊穡を祈願する神事の後に、縁起物の景品が当たる抽選会があります。空くじなしで、他にもお土産付き。新年最初の運試しをしてみてください。御座券は各商店街事務所にて販売。当日券もあります。

●第79回 いいづか商店街ツアー

日 時:1月23日(火)13時~15時

開催場所:飯塚商店街界限 参加費:無料

募集人数:10名(申込み多数の場合は抽選)

「お店は知っているけど入ったことがない」「知らない店には一人じゃ入りにくい」など、行ってみたい店はあるけど、きっかけがなくてそのままになっていませんか？ 商店街ツアーに参加すればみんなで行くので、気兼ねなくお店を見て回れます。今回も街なか案内人のガイドで、6店舗をご案内します。お気軽にご参加下さい。

お申込み・お問い合わせ: 飯塚商工会議所 TEL 0948-22-1007

日台交流シンポジウム 「日本と台湾の〈記憶〉遺産」

本シンポジウムでは、台湾における歴史遺産の取り組みをご紹介するとともに、日台の歴史的な交流を明らかにしながら、かけがえのない〈記憶〉遺産について、お互いに学び合うことを目的とします。

日 時:1月20日(土)13時~16時50分 開催場所:田川メディカルセンター講堂

(田川市大字伊田 2735 番地 23 / 田川市石炭・歴史博物館横)

【主催】田川市世界記憶遺産活用活性化推進委員会

田川市石炭・歴史博物館 田川市 田川市教育委員会

【内容】

【基調報告】「日台交流の意義(仮)」

施 国隆氏(文化部文化資産局長)

【基調講演】「歴史遺産を活用したまちづくり—台湾の動向—(仮)」

王 新衡氏(国立雲林科技大学助理教授)

【パネルディスカッション】「日台の〈記憶〉遺産と博物館」

王 長華氏(国立台湾歴史博物館館長)

林 慧如氏(新北市立黄金博物館学芸員)

龔 俊逸氏(新平溪煤礦博物園區総経理)

福本 寛氏(田川市石炭・歴史博物館学芸員)

【参加費】無料 【定員】約100名

【申し込み方法】電話・FAX・Eメールにて、事前に田川市石炭・歴史博物館まで

【申し込み・お問い合わせ先】

田川市石炭・歴史博物館 TEL/FAX:0947-44-5745 Email:tchm@lg.city.tagawa.fukuoka.jp

http://www.joho.tagawa.fukuoka.jp/kiji0035229/3_5229_4790_up_kisd6cgk.pdf

第17回筑前飯塚・地産大豆 de 節分まつり

1月28日(日)10:00~13:00 【開催場所】イヅカコスモスコモン前イベント広場

地元産の大豆を使った豆まき大会です。

飯塚市の冬の風物詩として定着し、地元農産物の良さを理解してもらおうと毎年開催。

まき手は飯塚市内に住む12歳以上の年男、年女。

地元で採れた農産物の販売、豆まきと福引抽選会、餅まき等が行われます。

【お問合せ】飯塚市農業委員会事務局 TEL 0948-22-5522

第3回逸品もちより展-子どもスタッフセレクション-

1月27日(土)~3月18日(日) 【開催場所】直方谷尾美術館

筑豊3館の美術館(直方谷尾美術館・嘉麻市立織田廣喜美術館・田川市美術館)によるとびきりの収蔵品をもちよった展覧会の第3弾。

本展では、直方谷尾美術館で活動する小学3年生から中学1年生の子どもスタッフ11名が企画に加わり、「わたしが行ってみたい場所」をテーマに、各館に出かけてそれぞれの収蔵品の見どころを絵にしました。展覧会では、もともなった作品と子どもスタッフの絵、子どもの目を通して感じたことをまとめた解説文を併せてご覧下さい。また会期中、直方市内商店街に子どもスタッフが制作したビッグフラッグも展示しています。

<http://yumenity.jp/tanio/index.html>

上野焼バレンタインおちょこ特別企画販売

2月1日(木)~14日(水) 【開催場所】上野焼陶芸館(田川郡福智町上野 2811-1)

特別な日に大切な方へ贈る、オンリーワンの器。

上野焼陶芸館では期間限定で、バレンタイン特別企画が開催されます。

手づくりで温もりのある「バレンタインおちょこ」で大切な人に思いを伝えてみませんか。

http://tagawa-net.jp/s/wp-content/uploads/sites/2/2017/12/aganoyaki_Valentine.pdf

発行：NPO 法人住学協同機構筑豊地域づくりセンター 第30期筑豊ゼミ

責任者：第30期筑豊ゼミ運営委員長 菊川 清

編集者：第30期筑豊ゼミ運営委員会事務局長 主税 洋三

住所：〒820-8555 飯塚市柏の森 11-6 近畿大学産業理工学部気付 第29期筑豊ゼミ

連絡先：090-9485-5985 (運営委員長 菊川) 090-8624-2886 (事務局長 主税)

e-mail：chair@chikuzemi.com (運営委員長) sec@chikuzemi.com (事務局長)